

附属病院／薬剤部

1. 領域構成教職員・在職期間

| | | |
|----|-------|----------|
| 教授 | 後藤 伸之 | 平成29年4月- |
| 講師 | 塚本 仁 | 平成28年4月- |

2. 研究概要

研究概要

薬剤部では、適正な薬物療法に貢献することを目的に様々な観点から研究している。例えば、個々の症例に最適な投与設計を導き出す薬物体内動態研究や、集積された臨床情報から薬剤疫学的手法を用いて、有効性・安全性を評価し、個々の適正使用情報をフィードバックするなど、個から集団へ、逆に集団から個へ、あるいは臨床から基礎へ、基礎から臨床へと幅広い研究実績を残している。特に、癌や感染症領域においては、チーム医療の中でそれぞれの専門薬剤師が中心となり、現在の高度に発展し多様化した薬物療法に安全性・有効性の科学的根拠を付加している。また、医療経済の観点から後発医薬品の使用が促進されているが、医療の質を低下させることなく後発医薬品を導入するため、その品質・安全性や医薬品情報に関する評価研究も行っている。

キーワード

薬学一般、薬物体内動態、薬剤疫学、医薬品情報、医薬品の品質管理、製剤開発

特色等

医薬品適正使用の実践に必要な情報を、薬物動態ならびに薬剤疫学の観点から構築している。薬剤部は病院において全診療科と密接に関連しており、臨床における薬物療法の有効性・安全性に関する種々の情報が入手可能であり、臨床の問題点に科学的なデータを付加し、適正使用情報としてフィードバックしている。さらに、診療情報からの副作用の自動検出システムを構築することで医薬品の適正使用の推進に取り組んでいる。そのため、他の診療科との共同研究も多い特徴がある。また、先進医療に積極的に取り組んでおり、薬物や代謝物の血中濃度測定や臨床試験のコーディネートならびにデータマネージメントをサポートしている。

本学の理念との関係

人々が健やかに暮らせるために必要な医薬品に関する薬剤疫学的調査により社会が必要としている医薬品の市販化に貢献している。また、専門医療を実践する上での薬物療法を支える医薬品情報の評価・提供する研究を実践している。

3. 研究実績

| 区分 | 総数 | |
|--------|--------------|------------------------------|
| | 2018年分 | インパクトファクター（うち原著のみ） 2018年分 |
| 和文原著論文 | 8 | — |
| 英文論文 | ファーストオーサー | 1 2.61 (2.61) |
| | コリホウディングオーサー | 0 0 (0) |
| | その他 | 2 0 (0) |
| | 合計 | 3 2.61 (2.61) |

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1857001

Kentarō Iwade, Shizuka Shimoji, Hidenori Masaki, Kouichi Tanabe, Nobuyuki Goto, Fumiko Ohtsu: Association between environmental changes and pharmacy visits in patients with relatively favorably controlled asthma, World Journal of Pharmaceutical and Medical Research, 4(11), 14-21, 201811

1857002

Tanabe K, Fujiwara K, Ogura H, Yasuda H, Goto N, Ohtsu F: Quality of Web Information About Palliative Care on Websites from the United States and Japan: Comparative Evaluation Study, Interact J Med Res, 7(1), 201804

1857003

Negoro Y, Yano R, Yoshimura M, Suehiro Y, Yamashita S, Kodawara T, Watanabe K, Tsukamoto H, Nakamura T, Kadowaki M, Morikawa M, Umeda Y, Anzai M, Ishizuka T, Goto N: Influence of UGT1A1 polymorphism on etoposide plus platinum-induced neutropenia in Japanese patients with small-cell lung cancer, Int J Clin Oncol, 24(3), 256-261, 201903, #2.61

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

1857004

後藤 伸之：「服薬指導・薬剤情報」人工弁植込み患者のケア：今日の治療指針2019, 医学書院, 416, 201901

1857005

後藤 伸之：慢性甲状腺炎：今日の治療指針2019, 医学書院, 777, 201901

1857006

後藤 伸之：頭痛：今日の治療指針2019, 医学書院, 992, 201901

1857007

後藤 伸之：疥癬/ケジラミ症：今日の治療指針2019, 医学書院, 1283, 201901

1857008

後藤 伸之：味覚障害：今日の治療指針2019, 医学書院, 1580, 201901

1857009

後藤 伸之：後発医薬品に関する情報の選択と留意点付録：治療薬マニュアル2019, 医学書院, 15-21, 201901

1857010

後藤 伸之：開発過程で得られる情報：コンパス医薬品情報学(改訂第2版) 理論と演習, 南江堂, 21-33, 201812

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1857011 平野 陽子, 渡瀬 友貴, 大岡 由朋, 田嶋 恭典, 古俣 孝明, 矢野 良一, 渡邊 享平, 塚本 仁, 後藤 伸之: SGLT2阻害薬服用患者への服薬指導に対する患者理解度調査, 医薬品情報学, 20(4), 232-237, 201903
- 1857012 岩出 賢太郎, 下路 静佳, 正木 秀典, 酒井 隆全, 田辺 公一, 後藤 伸之, 大津 史子: 保険薬局で行う気象・環境変化に関する予防型情報提供の喘息症状悪化に対する効果, YAKUGAKU ZASSHI, 139(3), 475-482, 201903
- 1857013 丹羽 浩子, 田辺 公一, 矢野 玲子, 後藤 伸之, 大津 史子: 一般用医薬品の乱用による副作用の実態と患者背景との関連性に関する研究, 医薬品情報学, 20(3), 145-155, 201811
- 1857014 田嶋 恭典, 新谷 智則, 古俣 孝明, 矢野 良一, 渡邊 享平, 塚本 仁, 中村 敏明, 後藤 伸之: 病棟薬剤師による薬学的介入の評価項目の作成～「薬学的患者ケアのためのチェックリスト」の分類を利用して～, 医療薬学, 44(8), 410-416, 201808
- 1857015 五十嵐 敏明, 今野 彩, 塚本 仁, 矢野 良一, 渡邊 享平, 中村 敏明, 政田 幹夫, 後藤 伸之: 医薬品副作用自動監視システムによる副作用検出の評価, 医薬品情報学, 20(2), 66-71, 201808
- 1857016 永光 加奈, 田辺 公一, 後藤 伸之, 大津 史子: 薬局薬剤師の副作用に対する認知および対応行動の現状とその要因, 医療薬学, 44(7), 370-379, 201807
- 1857017 田辺 公一, 川上 ゆい, 後藤 伸之, 大津 史子: 細菌カウンタと口腔水分計を用いた口腔内環境測定に影響する因子の探索, 日本口腔ケア学会雑誌, 13(1), 36-42, 201806
- 1857018 伊藤 萌, 田辺 公一, 岩出 賢太郎, 下路 静佳, 後藤 伸之, 大津 史子: 体温・血圧の自己測定に対する測定手技指導の影響, 在宅薬学, 5(1), 12-18, 201804

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

- 1857019 清川 真美, 後藤 伸之: 新薬くろ～ずあつぷ(第204回) パルモディア錠0.1mg(ペマフィブラート), 調剤と情報, 24(7), 1115-1121, 201805
- 1857020 新谷 智則, 塚本 仁, 後藤 伸之: 新薬くろ～ずあつぷ(第211回) ソフルーザ錠10mg, 20mg, 顆粒2%分包(パロキサビル マルボキシル), 調剤と情報, 24(16), 2433-2440, 201812
- 1857021 矢野 良一: 薬物療法問題集 コモンな50疾患・150題で実力がつく! 婦人科がん, 月刊薬事, 60, 2776-2780, 201810

d. その他研究等実績（報告書を含む）

- 1857022 後藤 伸之, 富田 隆志: 改訂されたインタビューフォーム記載要領2018の紹介, 日本病院薬剤師会雑誌, 55(3), 255-257, 201903
- 1857023 後藤 伸之: 平成29年度ブレアボイド報告の概要, 日本病院薬剤師会雑誌, 55(2), 103-107, 201902

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

- 1857024 後藤 伸之: 研究デザイン, 日本医薬品情報学会 医薬品情報専門薬剤師研究セミナー(名古屋), 201903

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1857025 後藤 伸之: シンポジウム 医薬品安全性情報の自発報告の位置づけ, 医療機関における医薬品副作用自動監視システムを用いた副作用検出, 第24回日本薬剤疫学会学術総会, 201810

- 1857026 佐々木 逸美: 周術期における薬剤師の役割, 平成30年第1回日本手術医学会教育セミナー, 201804

- 1857027 矢野 良一: 明日から改善! きつとうまくいく, 薬剤師の症例検討会 ～症例検討会に向けた準備のために知っておくべきこと～, 第28回日本医療薬学会年会, 201811

- 1857028 渡邊 享平, 大津 史子, 後藤 伸之, 佐々木 忠徳, 原田 幸子, 山川 雅之: 医療現場に必要な薬剤の市販化に向けた調査・研究, 平成30年度日本病院薬剤師会病院薬局協議会/学術フォーラム, 201811

- 1857029 新谷 智則, 塚本 仁: 耐性菌対策Up to Date～薬剤耐性アクションプランをうけて～ ICT(AST)としてAMR対策をどうすすめていくか 福井大学病院での取り組み, 第66回日本化学療法学会総会/第92回日本感染症学会学術講演会(合同学会), 201806

- 1857030 塚本 仁: 地域で取り組む医療関連感染対策～院内感染対策から地域感染対策へ～ 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)において薬剤師は何ができるのか, 第68回日本病院学会, 201806

c. 一般講演（口演）

- 1857031 片山 寛次, 廣野 靖夫, 早瀬 美香, 東本 真紀子, 齋木 明子, 前田 彩菜, 小竹林 徳子, 橋本 儀一, 北山 富士子: がん患者のライフステージにおける静脈栄養の意義, 第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 201902

- 1857032 片山 寛次, 廣野 靖夫, 早瀬 美香, 東本 真紀子, 齋木 明子, 前田 彩菜, 小竹林 徳子, 橋本 儀一, 北山 富士子: がんによる栄養障害に対するエビデンスに基づく栄養療法の実践, 第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 201902

- 1857033 廣野 靖夫, 片山 寛次, 成瀬 貴之, 玉木 雅人, 小竹林 徳子, 齋木 明子, 早瀬 美香, 橋本 儀一, 森川 充洋, 小練 研司, 村上 真, 北山 富士子, 前田 浩幸, 五井 孝憲: 胃癌治療における術前コリンエステラーゼ値の意義について, 第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 201902

- 1857034 酒井 隆全, 和田 侑輝人, 古閑 晃, 田辺 公一, 後藤 伸之, 大津 史子: 日本の有害事象自発報告データベース(JADER)を用いた研究のあり方に関する検討, 第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 201806

- 1857035 森田 陽介, 渡邊 享平, 齋木 明子, 矢野 良一, 塚本 仁, 後藤 伸之: ラモトリギン低用量導入による皮膚障害リスク軽減効果に関する後ろ向き調査, 第28回日本医療薬学会年会, 201811

- 1857036 松井 友里恵, 五十嵐 敏明, 松嶋 あづさ, 高橋 翠, 山本 大, 重森 美奈, 林 咲希, 矢野 良一, 塚本 仁, 後藤 伸之: 内服薬1日分調剤により期待される効果と業務時間の変化の検討, 第28回日本医療薬学会年会, 201811

d. 一般講演 (ポスター)

1857037

後藤 伸之、佐藤 嗣道、北澤 京子、入江 徹美、中山 建夫、山本 美智子：医学領域の学会を対象にした「患者・国民向けの医薬品等情報の提供のあり方」に関する調査、日本薬学会第139年会、201903

1857038

中西 絢子、矢野 玲子、青柳 裕、大津 史子、後藤 伸之：添付文書の重大な副作用と物理化学的性質データとの関連性—薬物性血液障害—、日本薬学会第139年会、201903

1857039

豊田 紗和子、吉村 祐奈、矢野 玲子、青柳 裕、大津 史子、後藤 伸之：薬物性光線過敏症と紫外線可視吸収スペクトルと構造の関連、日本薬学会第139年会、201903

1857040

寺本 日奈美、矢野 玲子、青柳 裕、大津 史子、後藤 伸之：添付文書の重大な副作用と物理化学的性質データとの関連性—薬物性アナフィラキシー—、日本薬学会第139年会、201903

1857041

斎木 明子、前田 彩菜、清川 真美、小島 すみれ、早瀬 美香、東本 真紀子、北山 富士子、小竹林 徳子、橋本 儀一、廣野 靖夫、片山 寛次：高カロリー輸液製剤中のビタミン量の変化に伴うワルファリンの効果への影響、第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会、201902

1857042

早瀬 美香、斎木 明子、廣野 靖夫、小竹林 徳子、東本 真紀子、前田 彩菜、橋本 儀一、北山 富士子、片山 寛次：当院におけるNSTと緩和ケアチームの連携、第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会、201902

1857043

和田 侑輝人、酒井 隆全、田辺 公一、後藤 伸之、大津 史子：日本の有害事象自発報告データベース (JADER) を用いた学術論文の実態調査、第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会、201806

1857044

福與 大貴、酒井 隆全、矢野 玲子、田辺 公一、後藤 伸之、大津 史子：危険因子及び自覚症状からの副作用推測式サポートシステムの構築 (第2報)、第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会、201806

1857045

井畑 萌、酒井 隆全、田辺 公一、矢野 玲子、後藤 伸之、榊原 仁作、大津 史子：薬剤性心不全の早期発見のための危険因子及び自覚症状の探索、第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会、201806

1857046

豊田 紗和子、吉村 祐奈、矢野 玲子、青柳 裕、大津 史子、後藤 伸之：薬物性光線過敏症と紫外可視吸収スペクトルとの関連、第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会、201806

1857047

尾下 友梨、酒井 隆全、田辺 公一、後藤 伸之、大津 史子：薬剤師の在宅医療への取り組み 療法士と比較して、第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会、201806

1857048

田端 志帆、吉村 真理、平野 陽子、前田 彩菜、末廣 陽子、新谷 智則、東 高士、渡邊 享平、矢野 良一、塚本 仁、後藤 伸之：バンコマイシン初期投与量の腎機能への影響についての後ろ向き調査、第28回日本医療薬学会年会、201811

1857049

松岡 大晃、古俣 孝明、東 高士、坂田 徳子、渡邊 享平、矢野 良一、塚本 仁、東野 芳史、北井 隆平、菊田 健一郎、後藤 伸之：胃全摘が及ぼすテモゾロミド血中濃度への影響、第35回日本TDM学会・学術大会、201805

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

1857050

奥村 直也、佐々木 逸美、松岡 大晃、矢野 良一、塚本 仁、後藤 伸之：術後疼痛管理における薬剤師の役割、日本病院薬剤師会 第29回北陸ブロック学術大会、201811

1857051

大岡 由朋、山下 慎司、田端 志帆、高柳 聡子、五十嵐 敏明、斎木 明子、矢野 良一、塚本 仁、後藤 伸之：院内製剤における電子的な調製工程記録システムの構築、日本病院薬剤師会 第29回北陸ブロック学術大会、201811

d. 一般講演 (ポスター)

1857052

奴間 由季、白波瀬 抄子、寺澤 優子、松尾 有香、市川 雅彦、渡邊 享平、坂下 雅文、徳永 貴広、後藤 伸之、岩野 正之：2018年福井豪雪発生時における被験者対応から見えてきた課題、第18回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2018in富山、201809

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1857053

後藤 伸之：医療現場の「なんでだろう！」から臨床研究へ、第49回日赤薬剤師会臨床薬学研究会、201903

1857054

後藤 伸之：医薬品情報の活用法 これだけは知っておきたい医薬品情報の伝え方、岡山県病院薬剤師会講演会、201902

1857055

後藤 伸之：「明日から薬剤師業務に役立つ医薬品情報活用法」、第40回徳島文理大学薬学部卒業後教育講座、201902

1857056

後藤 伸之：インタビューフォームの臨床活用と記載要領2018について—医療現場での活用について—、日本製薬団体連合会「医薬品の安全対策に関する講習会」(東京)、201901

1857057

後藤 伸之：インタビューフォームの臨床活用と記載要領2018について—医療現場での活用について—、日本製薬団体連合会「医薬品の安全対策に関する講習会」(大阪)、201901

1857058

後藤 伸之：特別講演 リアルワールドデータを医薬品適正使用に活用する—ごみの山から宝の山へ、一般社団法人くすりの適正使用協議会 薬剤疫学入門セミナー (東京)、201807

1857059

後藤 伸之：特別講演 リアルワールドデータを医薬品適正使用に活用する—ごみの山から宝の山へ、一般社団法人くすりの適正使用協議会 薬剤疫学入門セミナー (大阪)、201807

1857060

塚本 仁：抗菌薬の適正使用、AMR臨床リファレンスセンター AMR対策臨床セミナー in 福井、201810

1857061

塚本 仁：多職種で行う抗菌薬適正使用～福井大学病院での取り組み～、平成30年度富山大学病院院内感染対策講習会、201805

b. シンポジスト・パネリスト等

1857062

上谷 幸男：疼痛治療における薬剤師の役割、疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進の講習会、201901

1857063

矢野 良一：がん薬物療法による好中球減少症のリスク因子、東海北陸ブロックOncology Pharmacist Community Forum 2018、201809

1857064

渡邊 享平：限られたリソースで取り組む研究者および事務局支援、国立大学附属病院臨床研究推進会議第7回総会シンポジウム、201902

c. 一般講演 (口演)

1857065

五十嵐 敏明：当院のゼヴァリン療法における薬剤師の役割、第29回福井県放射線治療研究会、201903

1857066

早瀬 美香、東本 真紀子、斎木 明子、前田 彩菜、小竹林 徳子、石田 圓光、高木 京、斎藤 綱樹、小林 奈美子、橋本 儀一、黒瀬 知美、廣野 靖夫、北山 富士子、片山 寛次：テーマ1「平成30年度診療報酬改定後、NST活動に変化があったか」専従から専任に変わって、第45回福井NST研究会、201812

- d. 一般講演（ポスター）
e. 一般講演
f. その他

(G) 特許等

| 区分 | 内容（発明の名称） | 発明者又は考案者 |
|----|-----------|----------|
|----|-----------|----------|

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

| 区分 | プロジェクト名 | 研究課題名 | 代表者名 | 分担者名 | 期間（年度） | 金額（配分額） |
|--------------------|-----------------|--|-------|------|--------|---------|
| 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 | 医薬品等規制調和・評価研究事業 | 国内外における医薬品等情報の提供実態に関する調査並びに情報システムのコンテンツの検討・運用サイトの改善を踏まえた提言 | 後藤 伸之 | | 2018 | 650000 |

| 区分 | 研究種目 | 課題名 | 代表者名 | 分担者名 | 期間（年度） | 金額（配分額） |
|---------------|---------|---|-------|------|--------|---------|
| 文部科学省科学研究費補助金 | 奨励研究 | エトボシドの個別化医療に向けた薬物動態学的検討 | 根来 寛 | | 2018 | 490000 |
| 文部科学省科学研究費補助金 | 若手研究 | 固形腫瘍患者における血流感染症の細菌学的変遷と適切な抗菌薬治療に関する調査研究 | 塚本 仁 | | 2018 | 520000 |
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(C) | 腸肝循環の脱抱合メカニズムにおける薬物相互作用の分子機構解明 | 古儀 孝明 | | 2018 | 1170000 |

(B) 薬学寄附金

| | |
|------|---------|
| 受入件数 | 7 |
| 受入金額 | 1950000 |

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

| 区分 | 主催・共催の別 | 学会名 | 開催日 | 開催地 |
|----|---------|-----|-----|-----|
|----|---------|-----|-----|-----|

(B) 学会の実績

| 学会の名称 | 役職 | 氏名 |
|----------|---------|-------|
| 日本薬剤疫学会 | 評議員 | 後藤 伸之 |
| 日本臨床薬理学会 | 社員（その他） | 後藤 伸之 |
| 日本環境感染学会 | 一般会員 | 塚本 仁 |
| 日本臨床薬理学会 | 一般会員 | 塚本 仁 |
| 日本感染症学会 | 一般会員 | 塚本 仁 |
| 日本化学療法学会 | 一般会員 | 塚本 仁 |
| 日本医療薬学会 | 代議員 | 塚本 仁 |

(C) 座長

| 国内学会 | 学会名 | 氏名 |
|----------|--------------------------|-------|
| シンポジウム等 | 日本医療薬学会 第70回医療薬学公開シンポジウム | 後藤 伸之 |
| 招待・特別講演等 | 日本医療薬学会 第70回医療薬学公開シンポジウム | 塚本 仁 |

(D) 学術雑誌等の編集

| 学術雑誌等の名称 | 委員長（主査）・委員 | 氏名 |
|----------|------------|----|
|----------|------------|----|

(E) その他

1857067
1857068
1857069

塚本 仁：福大病院まちかどラジオ（福井街角放送）、薬剤耐性（AMR）対策推進月間、20181017
塚本 仁：おじゃまっテレ「健康いちばん」（福井放送）、インフルエンザ治療薬について、20181204
塚本 仁：薬剤耐性 知識学が、福井で医療関係者セミナー（中日、県民）、20181021